

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大久保中学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題> 授業に意欲的に取り組むが、基礎的・基本的な知識・技能の習得状況が二極化している。</p> <p><指導上の課題> 生徒が自らの学びを振り返る時間を確保できていない。</p>	<p>⇒ モジュール(朝数学)を設定し、基礎的な計算等、反復を通して基礎学力向上に取り組む。【朝の10分間25回実施】</p> <p>定期テスト前部活停止期間の朝のスタサブタイムやテスト勉強タイムを通し、自ら課題を設定し、個に応じた学習に取り組む。【スタサブタイム10分10回、朝のテスト勉強タイム10分10回】</p>
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> 国語・数学の「思考・判断・表現」の記述式問題の正答率が低い。</p> <p><指導上の課題> 生徒が自ら考え、自己表現する過程を授業中に時間を確保できていない。</p>	<p>⇒ 少人数等の活動の中に協働的な学びを通して考えたり、表現したりすることができるようにする。【R6年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上】</p>

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<p>国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、課題が見られた。特に「具体と抽象など情報と情報との関係」を捉える問題に課題がみられた。説明的な文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする活動が不十分であると考えられる。</p> <p>数学の「関数」の領域において課題が見られた。一次関数の関係を表、式、グラフを用いて表し、問題を処理することができていないと考えられる。</p>	
思考・判断・表現	<p>国語の「書くこと」の領域において、特に「表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章にする」の項目に課題が見られた。物語を創作し、感じたことや想像したことを書く活動が不十分であると考えられる。</p> <p>数学の「数と式」の領域において課題が見られた。目的に応じて式の変形をしたり、その意味を読み取り、事柄が成り立つ理由を説明する活動が不足していると考えられる。</p>	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	A	9/20(金)現在、モジュール(朝数学)を実施(11/11回)し、基礎的な計算等を取り組み、また、2回の定期テスト期間中に、朝のスタサブタイムや勉強タイムを通し、学習する習慣をつけ、基礎学力向上に努めることができた。	変更なし
思考・判断・表現	A	少人数等の活動を通し、自分の考えを深め、協働的な授業実践を取り入れている。また、教科等の特質に応じた自己表現する過程を開発するための校内研修をICTサポーターを講師として2回(1学期、夏季休業中1回ずつ)実施した。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)